



活気を取り戻してきている商店街

特徴として、①「世界共通の目標」である持続可能な開発目標（SDGs）は市政運営の基本理念の考え方に合致するので、市民と共に推進し、②新型コロナウイルス感染症への対応は、感染症への対応と経済活性化の両立を視点に入れ、新しい生活様式を実践しながら、あらゆる場面での感染症対策を常に意識し、社会情勢や市民・事業者などのニーズに応じた取り組みを進めるとしています。

第2次 総合計画

後期5年計画を可決

持続可能なまちづくりを推進

12月定例議会において、市は「第2次総合計画」の後期5年間（令和4年度から令和8年度まで）のまちづくり計画を議会に提案しました。

特徴として、①持続可能な開発目標（SDGs）との関係、②新型コロナウイルス感染症への対応など、新たな視点が加えられました。議会は、原案のとおり可決しました。

市は、市政運営の基本理念に掲げている「市民が創る くらしたい栗原」の実現に向け、平成29年度（2017年度）から令和8年

度（2026年度）までの10年間を計画期間とする「第2次栗原市総合計画」を策定しました。

度（2026年度）までの10年間を計画期間とする「第2次栗原市総合計画」を策定しました。

間は、前期・後期それぞれ5年間となっています。今回、後期5年間（令和4年度から令和8年度まで）のまちづくり計画が議会に示されました。

特徴として、①「世界共通の目標」である持続可能な開発目標（SDGs）は

市政運営の基本理念の考え方に合致するので、市民と共に推進し、②新型コロナウイルス感染症への対応は、感染症への対応と経済活性化の両立を視点に入れ、新しい生活様式を実践しながら、あらゆる場面での感染症対策を常に意識し、社会情勢や市民・事業者などのニーズに応じた取り組みを進めるとしています。

後期5年計画に追加された主な「具体的な取り組み」

空家の適正管理の推進

防犯・防災の観点から定期的なパトロールを行い、空家の適切な管理を指導する。

不育症検査費用の助成

県の不育症検査費用助成制度と連携し、夫婦の経済的負担の軽減を図る。

給食費の無料化

小中学校の給食費無料化などにより、子育て応援事業を充実させる。

在宅介護への支援の充実

在宅生活を継続できるよう、在宅で介護をする方への支援の充実を図る。

有害鳥獣対策の強化

防護柵設置への助成や鳥獣被害対策実施隊の活動支援などと併せて、捕獲鳥獣の処理対策に取り組む。

観光推進体制づくり

観光地域づくりの舵取り役としての持続可能な事業主体の立ち上げを検討する。

オンライン手続きの充実

マイナンバーカードを利用したオンライン手続きなどを充実し、より利便性の高い行政サービスの提供と手続きの簡素化を図る。

ひとくちメモ

※ エスディージーズ
SDGsとは

2015年9月に国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）は、2030年を目標年とし、「誰一人取り残されない」持続可能な世界の実現に向け、貧困の撲滅や教育の充実、気候変動への対策、陸や海の豊かさを守るといった17の目標と、それを実現するための169の具体目標から構成される「世界共通の目標」です。

陳

情

12月定例議会に5件の陳情が提出されました。

（敬称略）

令和4年度税制改正に関する提言について

一般社団法人 宮城県法人会連合会

会長 菅原 裕典

公益社団法人 栗原法人会

会長 上田 徹

新みやぎ農業協同組合代表理事組合長

みやぎ農協政治連盟JA新みやぎ支部支部長

大坪 輝夫

ウイグルの人権問題に対し国に調査を求める意見書

特定非営利活動法人 日本ウイグル協会

会長 于田 ケリム

「安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための意見書」採択を求める陳情書

宮城県医療労働組合連合会

母（毛嘉萍）が中国で不法に逮捕されている件に関する要望

執行委員長 中山 修

付 偉形

豚は三回生きる

3・11で生き残った有難豚ありがとんという豚を育てています。SDGSエス・ディー・ジー・ズで消費者や飲食店と10年かけて取り組んできたアニマルウェルフェア養豚取材していただく事が増えました。世界の畜産動向を研究し、豚を家族単位で飼う自由を拘束せず、日本の1%以下の昔の品種と適正規模の経営を目指しています。自分の農場がないため、世田谷で豚を飼ったときに出会った早慶の学生たちとの活動は7年目を迎え、豚の三回の生「誕生・豚肉・食卓の先」まで主体的に関わる制度が人気です。

私が祖父母から引き継いできた養豚は命を育て届ける仕事です。未来に続く養豚を栗原で実現させたいので、餌や販路も探しています。皆様の知恵を貸してください。



のぞみ 希望さん
(栗駒)
たかはし 高橋

私もひとこと

市議会定例会を傍聴して



よしあき 佳明さん
(高清水)
すずき 鈴木

市議会は友人と、定例会中の一日は議場で傍聴することになっています。コロナ禍で制限がありますが、対策はされています。12月定例会に17人の議員さんが、市民の声を現在・未来の生活に関わる諸問題と一般質問に通告書を出しています。私は、議会傍聴のために学ぶことがあります。

今回は札幌市の事業者などが「六角牧場風力発電事業」の風車の高さ200mは驚きです。当該地域住民への環境影響被害を懸念されると議員が質問しています。執行部は、全てに対して丁寧に答弁していると思います。

!!議会に要望!!『若人が集う安全安心な栗原・定住したい栗原』を市民は現在・未来にと議会に託しています。

あとがき

今年の干支は寅です。「火伏の虎」のように、中国の故事から、「風は虎に従う」、今年はコロナ風を封じ込めてもらいたいものですが、また新たな変異株の感染拡大が懸念される事態となっています。私たちは感染防止と緊張感の維持をもって、これからも社会生活を送るようです。しかし、栗原市を取り巻く諸課題は、コロナ禍だからと待ってはくれません。今後も紙面を通じて、議会の取り組みをわかりやすく伝えるよう努めていきます。

発行責任者

澤邊 幸浩

広報編集調査特別委員会

- 議長 藤 千昭
- 委員長 三 塚 東
- 副委員長 菅 原 紀
- 委員 菅 原 幸
- 委員 鹿 野 幸
- 委員 澤 邊 浩
- 委員 小 野 一
- 委員 菊 地 志
- 委員 佐 藤 悟
- 委員 三 浦 善
- 委員 菅 原 喜

